

団体名	平谷川のホタルを守り育てる会		
団体の所在地	三田市	代表者名	山下 義和

1. 事業名	平谷川のホタルを守り育て後世に伝えよう		
2. 実施期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日		
3. 主な実施場所	三田市あかしあ台二丁目 平谷川ホタル苑地		
4. 活動形態	普及啓発活動 実践活動		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>①6月に三田市小柿(羽束川)で支援者の協力を得て、種(親)ホタルを採取</p> <p>②親ホタルは3日で産卵するので、その後は元の場所に戻し余生を生きる。</p> <p>③採取した卵を孵化させ、大きくなるまで育てて平谷川、羽束川、苅藻川に放流した。</p> <p>④6月には鑑賞会・学習会を実施して自然保護の大切さを啓発している。</p> <p>⑤平谷川はシーズンを通して小学校や地域の環境学習の場としても役立てている。</p> <p>⑥ホタルの餌となるカワニナ貝の育成も通年で行っている。</p> <p>⑦6月になると毎年50～70匹前後のホタルが舞っている(推定発生数約200匹)</p> <p>⑧ゆりのき台小学校3年生児童約100名による環境体験学習を実施(年間) ホタルの生態学習、カワニナ採り、ホタルの卵を孵化させ教室で幼虫を育て放流した。</p> <p>⑨幼虫育成のために、これまで使用していた水道水を環境保全と経費節減の観点から 屋根に降り注ぐ雨水を貯めて貯留し、より自然に近い形でホタル幼虫育成を行った。</p> <p>⑩屋根から雨水が伝わる雨樋の分岐装置、雨水貯留のための大型タンク設置、基礎部分を構築するコンクリートブロック、配水管の設置工事などを行った。</p>		
6. 成果・反響・ 反省点等	<p>環境体験学習において、ゆりのき台小学校児童たちは半年間で約1000匹の幼虫を育て放流し、その様子は神戸新聞ほかに掲載された。</p> <p>活動は平谷川のホタルを守り育てる会メンバーだけではなく、あかしあ台小学校放課後クラブ、あかしあ台子供会、などとも連携している。また洲本市立安乎小学校、兵庫県立湊川高校、仁川台クラブ、宝塚エコネット、青谷川ホタルと河鹿の会、福田川エコクラブ、苅藻川の環境を守る会、などへホタル保護の支援活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■平谷川を学習の場とした、学校連携・地域連携による環境学習の継続実施 ■多くのホタル鑑賞者に自然環境保全の大切さを啓発できた。 ■ホタルを育てるプロセスで自然の生き物が繋がっていることを確認してもらえた。 ■平谷川の美化と苗木植栽の継続により河川環境整備に役立てられた。 ■種ホタル提供と幼虫放流により農村部とニュータウンの連携・交流が生まれた。 ■ホタル鑑賞により、つながりの薄い近隣住民の地域コミュニティが形成に役立った。 ■雨水貯留により自然に近い形でホタルの飼育が出来て成績も良かった。 		
7. 成果物	雨水貯留設備		
8. 活動写真			